

ご意見と本市の考え方

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
計画（素案） 全般に関して	全体的に熱意・意気込みが感じられるので、この機会に大きく飛躍し、市民や利用者が誇れる施設になることを期待しているが、広範囲で国際的な情報や視点が欠けている。NPOや海外の動物園運営など専門的知識を持つ人から情報の足りない部分を補う必要がある。	今後、計画を実行に移していく段階で、NPOや研究者などと連携していきたいと考えております。
	巨額の税金を使うのだから、1年に1回は「大阪市民無料デー」を作るなど、大阪市民に還元するとともに、普段来ない人にも次また来たいと思ってもらえるようにすればよい。	動物展示や各種のイベントを通じて、動物園にお越しいただいたお客様に楽しんでいただくことで市民に還元を図るとともに、リピーターの増加に努めてまいります。
	内容がかなり具体的で、今後に期待が持てる。「ZOO21計画」に比べ、「市民とともに」ということが伝わる。最後の用語解説も市民にわかってもらおうという姿勢があつていいが、目次を見ないで読み進むと存在に気付かないので、その点は考慮してほしい。	巻末に一般的でない用語について解説を記載しています。目次部分になりますが、用語解説がある旨、追記しました。
	この計画が実現したら、すばらしい動物園になると思うし、来園者目標も175万人と言わず、200万人と言ってもいい。今から始められるものは、いくらでもあるので、そのような取組みはどんどん進めて行ってほしい。	本計画に則りまして、すぐに取り組むことができるものは早期に着手してまいります。
	ナイトZOOが好調で、新たな動物園の試みとして大変評価できる。新しいことを行い、世界に伍していける動物園を目指してほしい。 外国人客が多いことを発信し、国内の基盤動物園としてリードしてほしい。	大都市大阪にふさわしい動物園となるよう努力してまいります。

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
I 天王寺動物園101計画策定の経緯	<p>「天王寺動物園は日本で3番目に開園した動物園」で文章がスタートしていますが、この情報は間違いです。花やしきや安藤動物園、ひらかたパークなどの方が古い。シェンブルン動物園は「現存する世界最古の動物園」、ロンドン動物園は「世界初の“近代”動物園」と広報しているが、それぞれ十分な情報を把握し、それを戦略化したうえで広報してるので、天王寺動物園も、正しい知識を把握したうえで、戦略的に作り上げていくべきである。</p>	<p>何を動物園と呼ぶのかについて、研究者によって意見が分かれるところだと思います。大阪においても、天王寺動物園の前身である府立大阪博物場の動物檻を動物園にカウントすべきかどうかといった論点があります。3番目の近代動物園という言い方もあり得ますが、設立当時の当園が「近代動物園」と名乗るにふさわしい活動をしてきたかどうかについては疑問が残るところです。現存するJAZA加盟園の中で3番目に長い歴史のあるということになりますので、「日本で3番目に長い歴史のある」という記載に修正します。</p>
II 天王寺動物園101計画の基本コンセプト	<p>動物が生態に近い暮らしをできる状況にできるようにする「動物本位（動物を出発点とする考え方）」の発想を根本とすべき。計画は来園者を想定したものとなり、飼育されている動物にとっての視点が抜け落ちているように思う。3件</p> <p>「憩い・学び・楽しめる都心のオアシス」とあるが、WAZAの動物園水族館保全戦略で動物園水族館の目的は「環境教育」と「種の保存」となっているので、「学び・憩い・楽しめる」の順番に変更すべきである。</p>	<p>本計画では、基本的な考え方として、お客様視点を重視しています。その上で、動物園のメインコンテンツたる動物そのものの魅力を如何に伝えていくかが重要であり、そのためにも動物を健康的に飼育することが不可欠だと考えています。</p> <p>天王寺動物園は、都市公園内の施設であり、お客様の憩いは重要な要素と考えております。</p>
III 天王寺動物園基本構想における動物園の使命等の整理	<p>天王寺動物園は、JAZA（日本動物園水族館協会）に加盟しているので、JAZAの提言する4つの目的「1 種の保存 2 教育・環境教育 3 調査研究 4 レクリエーション」の基本理念に準じるべきである。</p> <p>果たすべき機能・役割を「1. 域外保全・域内保全機能、2. 社会教育機能、3. 調査・研究機能、4. 近距離レジャー機能」に変更すべきである。2件</p>	<p>2015年8月にとりまとめた天王寺動物園基本構想では、天王寺動物園の使命や機能について、JAZAが提唱する4つの目的を踏まえつつ、それをそのまま用いるのではなく、大阪市としての視点、お客様の視点を加えたうえで、改めて整理を行いました。</p> <p>Ⅲ章に記載したとおり、動物園の運営に当たっては、商業的な機能である「近距離レジャー機能」と、公的な機能である「社会教育機能」のバランスが重要であり、両立する運営を進めてまいります。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
Ⅲ 天王寺動物園基本構想における動物園の使命等の整理	<p>入園者数や収支の状況次第でその存続が議論されてしまう動物園ではなく、市民生活に欠かせないインフラとしての動物園を実現・啓蒙するフラグシップとして機能してほしい。そのために、動物園の役割(種の保存、教育(環境教育)、調査研究、レクリエーション)をしっかりと果たすことで市民生活や環境への貢献を見せるべきである。</p> <p>「使命3:将来的には、野生生物の生息域内での保全にも貢献する。」とあるが、なぜ種の保存の役割を果たす使命が、「生息域内での保全」に絞られたのか。これに限らず他の役割についても将来的にではなく、期限や数値目標を明示し、その達成のための手法を明示すべきである。</p>	<p>101計画は園の運営全体をカバーする基本計画として策定したものです。種の保存、教育、調査研究等については、本計画に基づき具体的に取り組みを進めてまいります。</p> <p>生息域内保全に絞っているという点につきましては、生息域外保全、つまり飼育下での保全は、動物園の持続性を担保するために不可欠なものであり、使命2に含んでいるものと考えております。一方で、生息域内保全、つまり野生の生息環境での保全については、現在の動物園の組織のままで実施することは難しいと考えております。今後将来的に、収入源が多様化できるような経営形態をとれるのであれば、実施可能性があり、そのような含みをこめて「将来的に」とさせていただいております。</p>
	<p>総務省の多文化共生の概念や文部科学省の生涯学習施設、社会教育施設としての概念、全省庁管轄の食育基本法、そして人畜共通感染症などの概念が欠如しており、民間以下のアミューズメントスポットになっているため、案を作り直すべきである。</p>	<p>本計画においては、動物園の果たすべき機能・役割として、社会教育機能を位置付けております。</p>
	<p>動物園が果たすべき役割は、社会教育機能が一番とすべきである。天王寺動物園の周りにはレジャー施設がたくさんあり、ここからして方向を誤っている。</p>	<p>動物園の運営に当たっては、近距離レジャー機能と社会教育機能とのバランスが重要と考えており、両立する運営を進めてまいります。</p>
	<p>図1:基本構想の構成《構想検討の視点》で、「・レクリエーション、・教育(環境教育)、・種の保存、・調査研究」の順番になっているが、JAZAの順番「・種の保存、・教育(環境教育)、・調査研究、・レクリエーション」に変更すべきである。</p>	<p>ご指摘の図1内の記載順については、JAZAの記載の順番に修正いたします。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
Ⅲ 天王寺動物園基本構想における動物園の使命等の整理	<p>「将来的には生息域内での保全に貢献」とあるが、将来的ではだめである。動物園の目的の種の保存は単に生息域外保全にとどまらず、今すぐ生息域内保全にも貢献しなければならない。</p>	<p>当面は飼育下での保全について能力向上を図り、実績を上げた上で、将来的には生息域内での保全を目指してまいります。</p>
	<p>動物を生き活きとさせるために、飼育員の意見を大切にしてほしい。 動物園の意義としてブリーディングの重要性は世界的な流れかもしれないが、集客を無視しては、来園者が喜ぶ動物園にならない。</p>	<p>飼育員については、飼育管理技術を高いレベルで維持/向上できるよう取り組むこととしており、その意見も有用と考えております。動物園の運営に当たっては、近距離レジャー機能と社会教育機能とが両立する運営を進めてまいります。</p>
	<p>「ふれあいサービスの拡充強化」とあるが、現在行われているテンジクネズミ（モルモット）のコンタクトの拡充強化は、動物の虐待になりかねず、教育的効果も期待できないので、賛成できない。</p>	<p>当園が主に対象とする都市部の市民にとっては、動物とふれあうこと自体が少なくなっている状況があり、ふれあいサービスを通じて生きた動物に触れていただくことで「命の教育」にも貢献できると考えております。</p>
	<p>天王寺動物園ほど街中にあり、利便性の高い園はないので、教育機関の一つであることを忘れず、多くの人に愛される魅力ある園になってほしい。</p>	<p>動物園の運営に当たって、近距離レジャー機能と社会教育機能の両面を備えた運営に努めてまいります。</p>
	<p>「おひとりさま」でも気軽に楽しめるとうれしい。</p>	<p>ファミリーやグループだけでなくおひとりのお客様にも快適にお過ごしいただけるよう努めてまいります。</p>
Ⅳ 活性化計画	(2-1. メインコンテンツである動物展示の強化)	
	<p>いかに近くで見れるか、檻の中でなくできるだけ自然な動きを見れるようにするかどうかを考えるべき。 動物が遠すぎるため、すべての展示が他の動物園に比べて面白くない。もっと動物の個性を引き出すような展示方法を考え直すべきである。 2件</p>	<p>『ZOO21 計画』で整備した「生態的展示」については、動物が遠い、動物が見にくいといった弱点がありました。今後整備するゾーン・施設については、動物本来の行動を誘発し、お客様に近くでご覧いただけるような工夫を盛り込んだ施設とする計画です。 『ZOO21 計画』で整備した既設の施設については、大きく改修する予定はありませんが、給餌解説時などに動物を近くでご覧いただけるような工夫をしております。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
IV 活性化計画	現在の生態的展示のデザイン性を追求するあまりビューポイントが狭いつくりでは、イベントのガイド時に大混雑するので改善してほしい。	施設の整備に当たっては、お客様の観覧スペースをどれくらいとるべきか、混雑状況も想定した上で個別に検討してまいります。
	「魅力的な動物の導入や繁殖を強化、推進」とあるが、すべての動物が自然界とは比較にならぬほど狭く、無味乾燥な環境に置かれており、一部の動物は常同行動を続けていたので、動物たちのさらなる福祉の低下を招かぬよう、これ以上の動物の導入や繁殖の廃止を検討してほしい。	施設整備計画に基づき、よりよい環境の動物舎を順次整備していきたいと考えております。施設が整備されるまでの間は、環境エンリッチメントなどにより、動物の福祉の向上に努めてまいります。
	「展示動物が生息している自然景観を想起させる植樹・緑化を促進」とあるが、現在緑のない放飼場にはすぐにでも植樹してほしい。来園者が参加する植樹イベントなどもいいのでは。	緑陰の整備については、来園者サービスと動物福祉の両面から検討を進めてまいります。
	モルモットなどの小さい動物のふれあいは、動物のおモチャ扱いを助長するだけなので、やめるべきである。 動物の温かさを感じることは大事なので、子どもが敬意を持つ大きさの動物で行う方が意義がある。	お客様のアンケートの中では、多くのお客様からふれあいサービスの提供・拡充を求められており、「命の教育」の観点とお客様サービスの観点から必要なサービスだと考えています。
	現在のふれあいコーナーのように、事前の予約が必要で、限られた時間内で、少ない人数しかふれあえないのではなく、もっと自由に気軽にふれあえる工夫をしてほしい。 2件	ふれあいコーナーについては、昨年より新たにサービスを開始し、動物の状態に配慮しながら様々な運用を試している段階です。今後、サービスを提供できる人数を拡大できるよう努めてまいります。
	餌やり体験を拡充させてはどうか。 2件	家畜など人と共に生きる動物とのふれあいやお客様による餌やりなどの体験・体感ができる活動を強化してまいります。
	来園者による給餌願望は強いが、必ずしも動物を正しく理解することにつながっていないので、むやみに拡充すべきではない。	動物への餌やりについては、お客様の満足度向上とリピーターの確保にも繋がる活動であり、今後、動物の健康とお客様の安全に配慮しつつ、その活動を強化したいと考えております。

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方	
IV 活性化計画	動物解説パネルについて、専門的なもの、飼育員目線の個人情報に加えて、動物目線のつぶやきのものをタイムリーに更新していくべき。	パネルによる情報発信については、色々なスタイルのものを試してまいります。	
	動物の基本情報に加え、人間の活動や環境変化による影響、その対策として何が出来るか、などについても情報発信してほしい。 2件	動物展示に付随するパネルや飼育員等による解説において、環境保全のメッセージを盛り込むなど情報発信に取り組んでまいります。	
	動物におもちゃをあげたり、トレーニングを実施する時間がわかるようにしてほしい。	動物舎前に掲示するパネルなどにより、タイムリーな情報発信を行ってまいります。	
	ルール・マナーや動物情報に関する掲示を増やしてほしい。	来園者のマナーへの啓発については、工夫をしております。 動物情報については、タイムリーな情報提供を進めてまいります。	
	「野生動物が家畜や愛玩動物とは異なることについて来園者の理解を求める」とあるが、とても大切である。	ご意見を参考にさせていただきます。	
	「サバンナの白骨」展示は現在草に埋もれて気づく人がいない状況なので、エリア内展示物は維持管理をお願いしたい。	展示物の維持管理に努めてまいります。	
	ボランティアガイドの導入や飲食店舗の問題など多くの問題点が盛り込まれており、申し分ない素案である。 スピード感を持って進めてほしい。	「スピード感を持って」というご指摘を踏まえ、迅速な対応を目指してまいります。	
	(2-2. 魅力的なイベント企画づくり)		
	ナイトZOOは、夜間人目にさらされるのがまったく大丈夫な動物だけでいい、年に何回も行うべきではなく、教育的効果も狙った内容とするべきである。	ナイトZOOに関しては、平成27年から実施し、たくさんのお客様にお越しいただいており、動物の健康状態に配慮しながら継続してまいります。	
	ナイトZOOは、動物が寝ているだけとか、常同行動をしているだけにはしてほしい。 ナイトZOOのイベントは、どの飼育員が担当しても同じクオリティーが保てるように指導してほしい。	ナイトZOOに限らず、常同行動のような動物の異常行動を極力減らすような飼育管理に努めてまいります。 飼育員の質については、技術力の向上に努めてまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方	
IV 活性化計画	ナイトZOOで、滅多に観ることのできない夜の動物の様子を期待したが、園として夜の動物の特性を見てもらおうという意気込みが感じられなかった。	ナイトZOOの運営については、逐次改善を図ってまいります。	
	ナイトZOOは、回を重ねるごとに改善されてきているが、来園者の混雑で動物が見れないことがあったので、ガイドの回数を増やす、ワークショップ、ボランティアとの連携などで来園者の分散・混雑緩和を図ってほしい。	ナイトZOOについては、大阪の夏の恒例行事となるよう、毎年改善を図ってまいります。	
	魅力あるイベントづくりは重要だが、社会教育施設として節度あるイベントづくりが必要である。音楽イベントや植物関連イベントは動物園の教育活動とどのように関連し、また教育効果があるかを検討し実施すべきである。大道芸など、動物に関係のない、学びにもならないイベントは必要ない。 2件	各種のイベントを通じて、動物園にお越しいただいたお客様に楽しんでいただくことができれば、リピーターの増加につながり、何度も来ていただければ、動物園が発する動物に関する教育的メッセージがお客様に伝わる可能性が高まるものと考えております。	
	クイズ大会や動物すごろく、写真展や絵画の作品展などのイベントがあるとうれしい。	イベントについては、魅力的なイベントを企画してまいります。	
	(2-3. 広報・プロモーション)		
	通勤中に、JR天王寺駅北口を通過するが、動物園がすぐそこにあるという発信がなされておらず、年中ポスター掲示し続けるべきである。 主たるゲストである子どもを連れていても、快適に過ごせるポイントやマップがほしい。	駅などにおける動物園情報の掲示については、地下鉄で数多くの掲示をさせていただいていますが、今後とも鉄道各社への協力依頼やコラボレーションの模索を進めてまいります。園内の情報提供につきましてもさまざまな工夫を進めてまいります。	
	現在のスタッフブログはとても楽しいが、取り上げられる動物が限られているので、展示されていない動物たちの情報も定期的に発信してほしい。 4件	スタッフブログやSNSについては、特定の種だけでなく、全園的にタイムリーな情報発信に努めてまいります。	
	イベントについて、発信時期が遅い、行くまでわからない、全く告知がなされていないものがある。 2件	イベントについては、早め早めの告知を行うよう努めてまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方	
IV 活性化計画	天王寺動物園のホームページは、見た者に行きたいと思わせるようなものではない。ホームページの改善をすべきである。 2件	魅力的な情報発信ができるよう、ホームページのリニューアルを進めてまいります。	
	新聞以外にもWEBやSNSで情報発信してほしい。	SNS等を通じてタイムリーな情報発信に努めてまいります。	
	プロモーションとして、夕方の番組などで定期的に「今日のイッチャン」みたいに放送できないものか。	プロモーションについては、各種メディアからの取材を積極的に受け入れてまいります。	
	フリーペーパーのごみが目立つ。「家まで持って帰ってね」など表示を工夫したり、園内清掃をイベント化するとよい。	たくさんのお客様がいらっしゃいますので、全てのお客様に実施を求めるのは難しい面もありますが、園内の美化に関するお客様への啓発も検討してまいります。園内清掃をイベント化するというアイデアは興味深いと考えており、実現可能性について検討してまいります。	
	スター動物は構わないが、その動物の負担とならないようにしてほしい。	スター動物についても、適切な飼育管理に努めてまいります。	
	(3-1. ワクワク感を持った空間の提供)		
	「自然景観を想起させる植樹・緑化を促進し、」とあるように、アスファルトなどの人工物はできるだけ使わないでほしい。	動物園にふさわしい空間となるよう検討してまいります。	
	園路も計画に含め、動物園全体を通して統一された景観の美しい公園空間にしてほしい。	ご意見を参考にさせていただきます。	
「きれいへの取組みを強化」とあるが、すでに枠だけになって錆びている掲示物の痕跡が残り、来園者の視線を邪魔しているものがある。この再利用、撤去は考えているのか。	枠だけになっている掲示物跡については、撤去または更新を進めてまいります。		
(3-2. 来園者の快適さの向上)			
園路の舗装の凸凹は歩きにくいいため、きちんと舗装すべきである。日陰で動物が見える位置にベンチを設置してほしい。屋根付きの休憩場所を増やしてほしい。 3件	計画的に園路の補修、ベンチ等ゆっくり休憩できるスペースの設置を進めてまいります。		

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
	「子どもの目線」だけでなく、「車いすからの目線」もぜひ視点に入れてほしい。	ご意見を計画に反映し、車いすからの目線を含め、すべてのお客様が動物を楽しめるよう整備に努めてまいります。
	園内案内図・順路が不明瞭である。	園内の案内マップについては、継続的に改善を図ってまいります。 園内の順路については、初めての方でも容易に巡回できるよう、案内板の整備やわかりやすい巡回コースの設定などを実施してまいります。
	次回来園予定のチケットを窓口で購入できるとよい。	コンビニエンスストアでのチケット事前販売を実施するなど改善に努めてきており、ご意見についても参考にさせていただきます。
IV 活性化計画	入園チケットのコンビニ購入によってスムーズに入園できるようになったが、サポーターはスタンプを押してからの入園で一般入園者よりも入園に時間がかかるのはおかしい。	サポーター制度については、年間パスポートの導入検討と併せて、制度自体を全体的に見直していく予定です。安定的に市民の皆さまからの支援活動を構成できるような仕組みを目指してまいります。
	外国人の入園者増のためにもクレジットカード決済を導入してほしい。	クレジットカードの導入については、費用対効果を検討した上で判断してまいりたいと考えております。
(3-3. 魅力的な飲食・物販サービス)		
	気軽に食べることのできるパンやおにぎり、お菓子の販売を適正な価格で充実させてほしい。カジュアルダイニングの店舗があるとよい。食堂のメニューに動物園らしいものを導入してほしい。 8件	飲食や物販サービスについては、お客様のニーズに合ったものが提供できるよう検討してまいります。
	動物たちの前での飲食をされないよう、飲食は決まった場所だと決めてほしい。	エサの投げ込み等をされないよう、お客様のマナーの啓発に努めてまいります。
	プレゼントやお土産に適したオリジナルグッズがあるとよい。 3件	オリジナルグッズについては、積極的に開発を進めてまいります。
	物販について、地元のユニークな企業とコラボしたり、基金付きのオリジナル商品のネットショップ展開もよい。	今後のグッズ開発、寄付制度の参考にさせていただきます。
	来園者が撮影した写真を使用して缶バッジやポストカードを作る機会を設けてほしい。	来園者が撮影した写真を用いたグッズ作成のアイデアは興味深く、今後の参考にさせていただきます。

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
IV 活性化計画	オリジナルグッズの早期開発、販売を希望する。他園では、新しい動物の来園や赤ちゃんが生まれたときには商品販売に力を入れているが、それができていない。来園者のニーズと売店のセンスが合っていない。	動物園の物販施設は、ミュージアムショップとして動物園のブランド価値の向上に資するサービスを提供すべきと考えています。来園者ニーズを踏まえて、民間の活力も導入しつつ、物販施設のリニューアルを進めてまいります。
	入口付近でグッズ販売をすればよいのではないかと。2件	施設整備計画ではゲート付近へのスーベニアショップ配置を検討しております。
	(3-4. 何度も来場できる仕掛け (パスポート))	
	年間パスポートを一日も早く取り入れてほしい。現行サポーター制度はメリットが少ないうえ、サポーター会費の使途がわからない。12件	年間パスポートについては、できる限り早期の導入を目指してまいります。サポーター制度による寄付金は平成27年度416万円で、動物のエサ代等に充当させていただきました。収支の報告ができていなかった点を反省するとともに、今後はホームページで報告させていただきます。
	年間パスポートはあって当たり前であるが、リピーター確保のためだけでなく、寄付を集めることと合わせるのがよい。海外では寄付者に満足度の高い特典があり、参考にしてほしい。	今後の寄付制度の参考にさせていただきます。
年間パスポートの窓口は、手続きに時間がかかるため、チケット販売窓口とは別にしてほしい。また、美術館や慶沢園との共通パスポートや、平日だけや家族向けのものであってもよい。3件	ご意見を参考にさせていただきます。	
(3-5. CS (顧客満足度) 向上のための改善活動の推進)		
特定のスタッフの挨拶や態度がかなり悪い。CS向上のための改善はすぐにでも対応してほしい。	職員全員がおもてなし意識の向上とホスピタリティの醸成に努めるよう意識改革に取り組んでまいります。	
(3-6. 天王寺・阿倍野エリアと連動した魅力向上)		
計画では「天王寺・阿倍野エリア」となっているが、浪速区も過去に多くの連携協力をしており、今後も連携していけると思うので、忘れないでほしい。	ご意見を反映し、「天王寺・阿倍野・新世界エリア」と表記します。動物園周辺エリアとしては、浪速区の新世界地区もエリアと考えており、協力活動を進め、賑わい創出を図ってまいりたいと考えております。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
IV 活性化計画	(3-7. インバウンド対応)	
	<p>インバウンド対応として、象牙やサイの角などを多く輸入する国の人たちに向けて、どれほど動物を苛む行為であるかをアピールするなど、おもしろいことばかりでなく、厳しい現実を知ってもらうことも重要である。</p>	<p>本計画では、社会教育機能の向上を進めることとしており、レジャー目的で来園されたお客様にも伝わるように生物多様性の保全等に関する教育的なメッセージを発信していくことが重要だと認識しております。</p>
	<p>人止め柵の中に入らない、投込み禁止、フラッシュ禁止、ガラスを叩かないなどの動物園内のマナーを多言語で伝えてほしい。</p>	<p>インバウンド対応として、多言語による情報提供を強化してまいります。また、海外のお客様を含めた来園者のマナーへの啓発についても、工夫をしてまいります。</p>
	<p>今後外国からのお客さんも多くなるので、様々な面でフレンドリーでバリアフリーに配慮された施設となってほしい。</p>	<p>インバウンド対応として、多言語による情報提供を強化してまいります。</p>
	(4-1. ボランティア・NPOとの協働)	
<p>ボランティアに関して、計画に書かれていることを実現してほしい。 飼育ボランティアを募って、動物のエサの準備をしてもらい、飼育員はその間にエンリッチメントなど時間を有効に使ってほしい。また、イベントの準備を手伝うなどの活動も可能にしてほしい。</p>	<p>他園においては、エサの準備をボランティアに手伝っていただいている園もあります。 ボランティア活動については、どのような範囲の業務をサポートいただくことができるか、今後検討を進めてまいります。</p>	
<p>ボランティアの活用は有効で重要だが、優秀なボランティア育成のためには、きちっとした受け入れ態勢と十分な要員の確保が必要である。また、担当部署の設置など支援体制の強化を期待したい。 3件</p>	<p>ボランティアとのコミュニケーション機能を担う担当を設置し、ボランティア活動がしやすいような支援を行ってまいります。</p>	
<p>『大阪ズーボランティアーズ』の正式名称は『大阪動物園ボランティアーズ』である。 絵本の読み語りのボランティアグループ『ZOO人』が欠落している。 『東京ズーボランティアーズ』の正式名称は『東京動物園ボランティアーズ』である。</p>	<p>誤りのあった点については、ご指摘のとおり修正いたします。</p>	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方	
IV 活性化計画	「動物解説以外にも多様な形での市民参加を促す」とあるが、他の項目に比べて「ボランティアとNPOとの協働」は少し具体性に欠けるように思う。	ボランティアで参加いただける方々の活動実施希望を例示しておりますが、動物解説等以外の活動であっても、本計画の中で活動として位置付けられるよう、「多様な形での市民参加」と記載させていただいております。	
	動物解説やふれあいなどの教育活動は非常に重要である。「大阪動物園ボランティアーズ」の解説を今後どうするのか、アルバイトという選択肢も視野に入れていくべきである。	動物解説のボランティアについては、ボランティアの皆さんとも相談しつつ、今後の進め方を考えてまいります。	
	清掃や整備など臨時ボランティアでもお手伝いできることがあるとうれしい。	ボランティアについては、多様な形の参加を促してまいります。	
	(4-2. 個人からの寄付)		
	個人寄付について、手続きがわかりにくいので、ゲート近くに窓口を設け、誰でも簡単に寄付できるようにしてほしい。 3件	寄付をご利用いただきやすいよう窓口設置について検討してまいります。	
	クラウドファンディングについては、気軽に参加できるもので、費用をかければもっと良くなるという部分的なものでもよい。返礼品については協賛して提供してくれる企業があればよいが、希望者の名前の掲示だけでもよい。また、動物種を指定しての寄付や、募金箱の常設などもあると良い。 4件	クラウドファンディングや寄付については、多くの人にご利用いただけるようなわかりやすい仕組みとなるよう検討してまいります。	
	(4-3. 企業からの寄付・スポンサード)		
	企業サポートについて、企業にとっても寄付が何に使われているか明確にすべきである。放飼場の柵にサポート企業名を貼ったり、イベント時にさりげなく企業名を告知するなど、企業メリットを打ち出すべきである。	企業等からの寄付については、当該企業との間でウィンウィンになるような仕掛けを工夫してまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
IV 活性化計画	<p>今まであった企業からの寄付が継続できていない理由を検証し、今後を活かしてほしい。</p>	<p>今まで団体サポーター等の企業寄付がなかなか継続的に実施出来てこなかった点については、企業側とのウィンウィンの関係が築けていなかったり、当園からのフィードバックが不足していたなどが考えられます。今後は、協働関係を構築し維持できるよう、営業企画機能の強化等を行う必要があると考えており、企業からの寄付拡大に努めてまいります。</p>
	<p>動物舎前のパネルのどこかに、スポンサーができればその名前を入れてはどうか。</p>	<p>企業等からのスポンサーについては、様々な形を模索してまいります。</p>
	<p>協働事業で魅力的なグッズを作っている企業もあるのに、売店がニーズをキャッチしておらず、販売のチャンスを完全に逃している。</p>	<p>物販施設については、来園者ニーズを踏まえて、民間の活力も導入しつつ、リニューアルを進めてまいります。</p>
	<p>協働事業ですでにあるトララーメンを出すレストランを作り、販売もすればよい。スポンサー企業のグッズを取り扱う店があってもいい。</p>	<p>協働事業の展開については、様々な形を模索してまいります。</p>
	<p>ネットで「売上金は寄付しています」「園長の許可は得ている」と謳ってバッチなどを打っている個人がいるが、疑わしい。今後は個人が動物園の動物を使ってグッズ販売ができるためのガイドラインはできるのか。</p>	<p>企業等との協働事業として、売上の一部をご寄付いただく形のコラボ事業を行うこともあります。個人が実施される場合にも、同様の枠組みを活用することになると考えております。 なお、当該ネット情報は承知しておりません。</p>
V 機能向上計画	(2-1. 動物飼育管理技術の向上)	
	<p>職員間の飼育技術の伝承がきちんに行われるようにしてほしい。</p>	<p>組織としての技術力が重要と認識しており、技術知見の蓄積や技術伝承を進めてまいります。</p>
	(2-2. 飼育個体の維持・確保)	
<p>コアラ、ツキノワグマ、ウンピョウなどまだ可能性のある動物は積極的に繁殖に取り組んでほしい。国内に一頭しかいないドリルは、メスを迎えることができないなら、国外に出すべきである。2件</p>	<p>動物の飼育繁殖については、コレクション計画に基づき実施してまいります。コレクション計画で撤退種と位置付けた種につきましては、他園への譲渡等の可能性を検討してまいりたいと考えております。</p>	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
V 機能向上 計画	<p>他園が不可能なコアラの野生本来の姿を観ることができる展示をもっと拡大し、しっかりと続けるべきである。コアラの飼育をやめる理由として、ユーカリの費用が挙げられているが、もっとアピールして寄付やサポーターを募ることも積極的にやるべきである。 2件</p>	<p>コアラについては、平成 25 年度に開催した天王寺動物園飼育動物維持計画検討有識者会議での意見も踏まえて策定したコレクション計画において「撤退種」と位置付けております。これは、コスト面だけでなく、南方系コアラの飼育維持の可能性なども総合的に勘案した結果によるものです。</p>
	<p>ホッキョクグマのゴーゴとバフィンで繁殖に臨む際、園全体で繁殖成功に向けて一丸となって取り組んでほしい。</p>	<p>コレクション計画では、ホッキョクグマは推進種と位置付けております。繁殖が実現するよう努めてまいります。</p>
	<p>コレクション計画が更新されれば、その際は公表されるのか。</p>	<p>コレクション計画を更新する際は、ホームページ等で公表してまいります。</p>
	<p>食肉となっている牛・豚・鶏は飼育すべきではないか。</p>	<p>現時点の計画では盛り込んでいませんが、今後「ふれあい/家畜ゾーン」を具体化していく中で、検討していきたいと考えております。</p>
	<p>問題の啓発と併せて、保健所で殺処分対象となっている猫や犬などの譲渡も行えるようにしてはどうか。</p>	<p>当園では、主に野生動物や家畜を専門的に扱っており、愛玩動物である犬や猫は専門外であり、譲渡の場の設置は考えておりません。</p>
	<p>土地に対して動物種が多すぎる。飼育する動物種を 1 種にするなど種類と数を徹底的に減らし、動物一名ずつの福祉向上をはかるべきである。</p>	<p>コレクション計画に基づき飼育する動物の種類について「選択と集中」を行うとともに、飼育するそれぞれの種には豊かな環境を整備してまいります。なお、都市部の多数のお客様のニーズにも応える必要から、飼育種を 1 種に絞るなどの極端な集中を行うことは考えておりません。</p>
	<p>ペットを飼いたくても飼えない人のために、珍しい動物ばかりではなく、犬や猫などと触れ合えるコーナーの設置を検討してほしい。 殺処分される犬・猫を動物園で引き取れば寄付も集まるかもしれない。</p>	<p>2015年8月にとりまとめた天王寺動物園基本構想では、天王寺動物園の使命として、野生動物や家畜などの動物についての理解や自然環境や生物多様性への気づきを与えることと整理しており、愛玩動物である犬や猫については、当園のコレクションプランの対象外としております。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方	
	昨年アジア動物園会議をせっかく開催したのだから、一過性のものにせず今後も参加してくれた園館との交流を深めつつ、飼育技術の向上などを通じて世界水準を目指してほしい。	アジアの動物園との交流を積極的に進めてまいります。	
	適正飼育個体数を多少超過しても飼育できる施設をぜひともつくってほしい。	バックヤードの充実を図ってまいります。	
(2-3. 動物福祉の向上)			
V 機能向上 計画	飼育員の割り振りは、個体1頭に対してなら何人という安易な考えではなく、高齢や幼年などケアの必要な動物には人員を厚くすべきである。	職員の人員配置については、そのときどきの状況に鑑み、適正配置に努めてまいります。	
	動物のQOLの向上のために最も必要な要素は、「広さ」である。動物種・数を大幅に削減し、その分少数の動物の自然で活力溢れる姿を追求してほしい。 それができないのであれば、その動物の飼育をやめるべきである。	動物福祉の向上に努めてまいります。	
	「動物倫理規定」についても具体的に説明を加えてほしい。動物園のマナーに関する掲示や看板は一層徹底してほしい。	動物倫理規定については、今後策定してまいります。また、お客様のマナー啓発に努めてまいります。	
	動物倫理規定とはどのようなものか。策定後は内容を一般に公表するのか。	動物倫理規定は自然保護、動物福祉、適正利用を目的に、動物を収集、飼育・研究、展示する場合の基本的な事項を定めたものを考えております。策定後はホームページ等で公表してまいります。	
	環境エンリッチメントやハズバンドリートレーニングの取組みは、現状飼育員個人の裁量に拠っているので、全園的に取組んでほしい。 21件	環境エンリッチメントやハズバンドリートレーニングについては、全園的に推進してまいります。	
	(2-4. 生物多様性の保全)		
	大阪市自然史博物館や海遊館など、他の施設スタッフと意見交換することが有益ではないか。	自然史博物館や海遊館など他園館との交流を進めてまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
V 機能向上 計画	(3-1. 楽しみながら学ぶ ～環境教育、命の教育～)	
	環境教育、命の教育を行うには最適の場所なので、動物園内を禁煙としてほしい。	園内3か所の喫煙コーナー以外での喫煙は禁止しております。
	早急に教育普及専従の学芸員職、調査研究専従の職員を置き、その充実を図るべきである。	社会教育活動や調査研究活動を担う組織体制について、検討を進めてまいります。
	体験学習プログラム、教育プログラムとも、教員とともにプログラム開発専門の人材も入れてほしい。	プログラムの開発にあたっては、専門知識を有する方の協力をいただきながら、進めてまいりたいと考えております。
	「楽しみながら学ぶ ～環境教育、命の教育」の①と③について、貴重な学習機会を提供する場になるので、ぜひ解説や展示方法に工夫を凝らしてほしい。	展示や解説の工夫を進めてまいります。
	掃除などは来園者が楽しく進んでゴミを捨てるなど、大人も子どもも参加できる環境教育につながるべきである。	ごみの分別など環境を考えるイベントの手法として参考にさせていただきたいと考えております。
	夏休みのサマースクールのような、大人向けの学びの場を設けてほしい。	社会教育の機能を向上させていく上で、その活動は子供だけでなく大人も対象にしていくべきと考えており、どのような活動ができるか、今後検討してまいります。
(3-2. 学校教育との連携)		
サマースクールはいい勉強になるイベントだが、行けなかった子供に対しても学べる場を提供してほしい。 「なぜガラスを叩いてはいけないのか」など説明看板を立てるべきである。 リタとロイドの銅像についても、案内文などを設置して理解を深めるべきことである。	サマースクールは教育効果の高いイベントですが、バックスペースの狭さなどがあり、参加できる人数に限られる弱点があります。社会教育施設として、より多くのお客様に動物についてもっと知っていただく努力が必要と考えており、掲示物などを通じて、教育イベントに参加できない方にもさまざまなことを知っていただけるような工夫をしてまいります。また、リタとロイドの銅像については早急に解説板を設置いたします。	
小学生向けの職業体験を中学生や高校生にも広げてほしい。	体験学習プログラムの拡充について、検討してまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
V 機能向上 計画	幼稚園・小学校と連携を取り、動物園を訪れる前の教育を充実させてほしい。	小学校等の教育機関が動物園を教育利用される場合、事前学習をしていただくことは有効だと認識しており、連携について検討してまいります。
	(4-2. 動物園独自の調査研究能力の向上)	
	調査研究については、正しい専門的知識を有したスタッフを雇用すべきである。実際海外の動物園でもそのようなスタッフが雇われている。	動物園が独自の研究能力を有することは、持続的に動物園を運営していく上で不可欠だと考えており、職員の業務として調査研究を位置付け、日常業務の改善に活かしてまいりたいと考えております。
VI 施設整備 計画	(1-1. 基本構想等における方針)	
	動物園の意義・役割の順番を、 ・知的好奇心を刺激する学びの場として、知ることの喜びを提供 ・希少動物を保全する場 ・野生動物を公共的に確保・維持する場 ・都心の緑地として「癒し」の提供 ・お手軽に行ける近距離レジャーの場に変更する。	図は、平成27年8月にとりまとめた基本構想の記載を図示したものであり、順番の変更は考えておりません。記載されたすべての項目が実施できる運営を進めてまいります。
	(1-3. 展示のあり方と期待される効果)	
	「市民にとっての動物園プライド」とはどのような意味か。「プライド」という表現が気になる。	市民がその地域にある動物園のことを誇りに思う意識という意味で記載しております
	(2-1. 前提条件の設定)	
既存の継続施設となっているカバ舎、サイ舎は観覧エリアが狭くとても見づらいため、改修してほしい。 アイファーは展示の数が少ないわりに、それぞれの展示スペースが小さいので、使い勝手のよいスペースに変えるべきである。	カバ舎、サイ舎の観覧エリアでは繁忙期に多くのお客様で混雑する状況があり、緩和に向けた方策を検討してまいります。アイファーについても動物の福祉、飼育のしやすさなど様々な点を考慮しつつ検討してまいります。	
アイファー、夜行性動物舎などの空調の故障は動物の生命に関わるので、速やかに修理をすべきである。	適宜設備の補修を実施してまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	サイの観覧ゾーンは狭く、道がでこぼこで雨の日は水たまりができる。また、太陽の日差しもきつく、じっくり観察するには不向きとなっている。	園路の補修について計画的に実施してまいります。
	サルアパートの寝室側の窓が汚い。せめて窓は定期的きれいに拭いてほしい。	お客様から見やすくなるよう、窓の清掃に努めてまいります。
	ガラスに反射して見えにくいので、トラ舎やゾウ舎などの不要な照明は消してほしい。	お客様に動物をご覧いただきやすいよう照明を設置しておりますので、ご理解くださるようお願いいたします。
	見えにくいので、ツキノワグマの亚克力板は一部でも外してほしい。ジャガーやオオカミ等、ガラス張りの展示も日の当たる向きを考慮しないと反射して見えにくい。	ツキノワグマ舎前の亚克力板については、クマの脱出防止のために設置しているものです。なお、お客様の安全確保を考慮のうえ、撤去可能な亚克力板については取り外しております。
	建設されてからまだ 20～30 年しか経っていないコアラ館、映像館、霊長目舎、小型ネコ舎などが取り壊されるようだが、もっと長い展望で使用できる施設を作してほしい。	新たに整備する施設においては、動物の繁殖や動物の福祉にも配慮したものとしてまいります。
	将来ツル舎について、ツル舎は最近新しくなったばかりなのに、それを壊してまた箱ものを作るのか。	最近設置したツル舎については、今後 20 年弱の間、ツル舎として利用したうえで、南米の森ゾーンのジャガーのパドック等に解体ではなく機能転用する予定です。
	コアラ舎は、今あるものは使えないのか、など予算がないと言いながら箱ものばかりにお金を使うように見える。他にもっとできることがあるのではないかと思う。	コレクション計画上、コアラは撤退種と位置付けており、今後新たな導入予定がないことから、1 頭のみのコアラを現在のコアラ舎で飼育するには大きすぎ、なおかつ、コアラに特化した施設のため転用も簡単ではありません。そこで、本計画では、コアラ舎跡を利用して「東南アジアの森ゾーン」を整備する計画としております。
	(6. 新施設整備プロジェクト)	
	大阪の都心の動物園なので、賑やかで華やかな通路や装飾に改良してほしい。	園内がワクワク感を持った空間となるよう努めてまいります。

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	<p>植物園ゾーンに、小動物や鳥類を入れて、環境活性や癒しの場としてほしい。</p>	<p>施設整備計画で動物園内に植物ゾーンの設置は予定しておりませんが、園内全体が緑豊かで憩える癒しの空間となるよう努めてまいります。</p>
	<p>新設獣舎は、大勢のお客さんが来ても見られるよう観覧ゾーンを広く設けてほしい。</p>	<p>新設の動物舎については、限られたスペースの中ではありますが、お客様の観覧しやすさ、動物の福祉、飼育のしやすさなど様々な点を考慮しつつ、整備を進めてまいります。</p>
	<p>イベントや混雑時に、快適に観られる工夫があればよい。また、わかりやすいところに理解・賛同が得られるように、動物園におけるマナーの掲示を行ってほしい。</p>	<p>マナーに関する掲示については、工夫してまいります。</p>
	<p>工事の騒音や振動が動物の負担になることを軽減するため、30年以上の長期計画は有効であり、熱意のある飼育員を計画立案に参加させるべきである。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただきます。</p>
	<p>将来像のポスターを園内に貼り、行くたびによくなるのが実感できるようにしてほしい</p>	<p>リニューアル計画についての園内での情報提供については、計画の進捗状況を踏まえて適宜実施していきたいと考えております。</p>
	<p>地上で、観覧者と動物が同じ目線である必要はなく、海外の動物園のようなキャノピーウォークという観覧設備に対する工夫と考察を行うべきである。 また、動物を檻に閉じ込め、観覧者にそれを見せるという手法はやめ、動物たちが周回できるウォーキングコースを設置するなど、動物たちがもっと自由に園内を移動できるような施設にするべきである。</p>	<p>キャノピーウォークのアイデアは興味深いと考えております。個別のゾーンについては、今後の詳細なデザインの際に検討してまいります。また、キャノピーウォークについては、コストや安全性などを考慮しつつ、検討も視野には入れていきたいと考えております。また、動物舎を設置する際には、観覧者からの視点の設定をいろいろと工夫していきたいと考えております。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	<p>展示方法に関する理解が偏っている。</p> <p>「生態的展示」という名称は一般的ではなく、ある作家は「ランドスケープイマージョンの日本的間違った解釈」とも記載している。「5つの配列論」も一般常識のように書かれているが、国内外でも一般的ではないので、もっと正しく引用すべきである。</p>	<p>何を「一般的」とするかは、人によって意見が分かるところです。例えば、「行動展示」についても、その解釈や定義については色々な意見があるものと思います。5つの配列論については、それほど特殊なことを言っているわけではないのですが、研究者から見れば「一般的」ではないというご意見だと理解いたしました。よって、6-4ページの「一般的」という語を削除し、今回の計画策定の中で5つの配列論という考え方で整理を行ったという趣旨に書き換えさせていただきます。</p> <p>「生態的展示」については、これまでの『ZOO21計画』に基づく施設整備に当たって使用してきた用語を概ね踏襲しています。今回の101計画での施設整備方針は、動物の行動の誘発等にあまり配慮されていなかったこれまでのような展示を行うのではなく、動物本来の活発な行動の誘発、来園者の間近で見せるという考え方を取り込んでまいります。</p>
	<p>新しい施設は、寝室の広さと快適さを重視すべき。また、全動物が運動場に出られるようにする、運動場との出入りが自由にできるようにする、来園者の視線から逃げられる場所を用意する、風の通り道を作るなど考慮してほしい。</p>	<p>新施設の建設に当たっては、限られた面積の中ではありますが、飼育される動物の快適さにも配慮した施設となるよう努力してまいります。</p>
	<p>動物舎の設計には現場飼育員の声を取り入れた設計としてほしい。10件</p>	<p>動物舎の設計に当たっては、来園者の楽しさ、動物の福祉、飼育管理のしやすさなど様々な観点を考慮することになります。様々な専門家の意見を集めていく中で、飼育員の意見も有用だと考えております。</p>
	<p>施設整備にあたっては、エサや物の投込みをする客の対策を考慮してほしい。</p> <p>ガラス展示にする場合は、距離的にガラスを叩けないようにするなど工夫してほしい。</p>	<p>動物園には様々なお客様がいらっしゃいますので、啓発活動に努めてまいります。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	<p>緑あふれるシーンイメージを見るとワクワクするが、南海地震の発生などが予測されているので、災害対策を考えた耐震設計をお願いしたい。</p>	<p>施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。 災害対策についても併せて検討してまいります。</p>
	<p>今回の施設整備計画は動物たちにとって快適で工夫されたものになると思う。 現状ケージの狭いところは、広く樹木による日陰を作ってほしい。 また、ガラス展示はもう少し陰になる庇や簾、樹木などで眩しさを防げるようなものが必要である。</p>	<p>施設の詳細は、今後設計段階で検討してまいります。日陰にも配慮したものを検討してまいります。</p>
	<p>コンクリートや人工物の使用は最小限にして、土や木、石など自然のものを使用して、動物が本来生育する環境に近い展示場としてほしい。広さや安全面にも十分配慮し、今後の個体導入を見据えて国外の飼育環境基準も満たす施設を建設してほしい。 4件</p>	<p>施設整備計画に記載したシーンイメージのとおり、動物の展示施設については、土・緑を多用するイメージを持っています。施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。 新たに整備する施設については、国内外の飼育基準を活用しつつ、適切な環境を確保してまいります。</p>
	<p>来園者に見せることを主にせず、動物を最重要と考えてほしい。 京都市を参考に、デザインは市民や動物園ファンの声を聴くような場ができればよい。</p>	<p>動物の福祉の向上に努めてまいります。市民とともに「私たち」の動物園を作り上げていけるよう、市民やNPOなどとの連携協働の仕掛けも模索してまいります。</p>
	<p>ナイトZOOでは一部通行禁止になっている箇所があったが、よりナイトZOOを安全で快適にするためにも、施設を「ナイトZOOに対応したもの」にしていく方がいいのではないかと。</p>	<p>ナイトZOOは日数限定のイベントですので、ゾーンの整備の基本条件にはあえて入れておりません。なお、新たに設置する夜間に展示可能な種の個別の施設については、設計段階でナイトZOOの実施に配慮したものとしてまいります。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	<p>入場者が長時間動物たちを観察できる設計になっているか、ナイトZOOなどにおいても動物たちのストレスを軽減する設計になっているか、動物たちの尊厳と健康を守り、野生動物に対する理解や保全意識を持てる設計になっているか、について考慮のうえ施設の設計に反映してほしい。</p>	<p>施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。</p> <p>なお、どのような設計をしたとしても、狭い園内に多数のお客様が集中される場合があり、その際はお客様どうしで譲り合いをしていただく必要があると考えております。</p> <p>ナイトZOOの実施に際しては動物の健康状態をよく観察しながら実施してまいります。</p> <p>動物福祉に配慮した施設整備を検討するとともに動物の魅力や環境保全のメッセージを発信してまいります。</p>
	<p>動物の生息環境に近い展示にしてほしい。また、見やすいように幅はせまく、横長に改装してほしい。</p>	<p>動物の展示施設については、施設整備計画に記載したシーンイメージのとおり、生息地環境を再現した整備を行ってまいりたいと考えております。施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。</p>
	(6-1. 海洋動物ゾーン)	
	<p>海洋動物ゾーンは早期に実現してほしい。</p>	<p>早期の実現を目指して検討してまいります。</p>
	<p>海洋動物ゾーンで「ペンギンの陸地エリアにウォークスルーを取り入れる」とあるが、陸地部分は繁殖用の巣穴を設置しなければならず悪影響は明らかであり、かつ防疫上も問題である。</p>	<p>ウォークスルーの範囲の設定などは、今後設計段階で検討してまいります。</p>
	<p>カリフォルニアアシカとフンボルトペンギンが同時に見えるようなパースが描かれているが、自然界でこの2種の動物を同時に見ることはありえない。</p> <p>水系施設を共用しコストダウンを図ることは理解できるが、入園者側に同一の施設であるとの印象を与えるべきではない。</p> <p>また、アシカが頭上の水路を泳ぐところが描かれているが、水路上の水槽では海中を縦横にダイナミックに泳ぐアシカの特徴を展示できないため、トンネル型の水槽での展示に変更すべきである。</p>	<p>野生の生息地についての解説を丁寧に実施してまいります。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	<p>ホッキョクグマ舎の建設にあたっては、動物福祉の立場に立ち、産室、広い展示スペース、観覧スペースの充実を実現してほしい。また、人工降雪機やミストシャワーも導入してほしい。 4件</p>	<p>ホッキョクグマ舎の詳細については、今後設計段階で具体的に検討してまいります。</p>
	<p>水道代の削減のために、ホッキョクグマプールの水替えの頻度を減らすなどの目先の対応ではなく、根本的な理由を明らかにしたうえで有効な対策を講じてほしい。 2件</p>	<p>今後設置するホッキョクグマ舎のプールについては、水道代節約の要請もあり、循環ろ過を可能とする設備の導入を計画しております。</p>
	<p>海洋動物ゾーン（ホッキョクグマ舎）について、観覧ゾーンの充実に留意し、繁殖に成功した担当者の意見に耳を傾けてほしい。砂場や降雪機があると面白い。水中展示は魅力的だが、アクリルが傷つくのをおそれ、オモチャを制限するのはやめてほしい。アシカの施設の造波装置は面白い。 2件</p>	<p>ホッキョクグマ舎等の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。観覧スペースのみならず、バックヤードの充実も検討してまいります。</p>
	<p>ホッキョクグマのイッチャんが繁殖年齢に達するまえに海洋ゾーンの整備を終えてほしい。ホッキョクグマの繁殖成功率は低いので、園をあげて静かな環境を整えてほしい。 2件</p>	<p>海洋動物ゾーンは、第1期での整備を目指しております。工事期間中に音や振動による動物への影響をできるだけ軽減するよう努めてまいります。</p>
	<p>海洋動物ゾーンのホッキョクグマ舎は、過去の繁殖実績を活かした施設であることを願う。</p>	<p>ホッキョクグマ舎の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。繁殖を考慮したものとしてまいります。</p>
	<p>ホッキョクグマは冬のイメージしかなかったので、イラストのような環境で生息していることは知らなかった。改めて動物園が動物の生態について学ぶとても良い場であることに気付いた。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただきます。</p>
	<p>天王寺動物園は立地がよく、海洋動物ゾーンは魅力があるので、ぜひ日本一の施設にしてほしい。そうすれば、多くの観光客が訪れることが期待できる。</p>	<p>海洋動物ゾーンは、第1期での整備を目指してまいります。 また、動物園のみならず、周辺エリア全体の活性化を目指して、連携協力を進めてまいります。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備 計画	(6-2. ふれあい・家畜ゾーン)	
	ふれあい・家畜ゾーンにおいて、日本の牛を導入してほしい。	現時点の計画では盛り込んでいませんが、今後「ふれあい/家畜ゾーン」を具体化していく中で、牛の導入の可否について検討してまいります。
	家畜ゾーンは家畜と人間の関わりを見せ、理解させる施設であり、動物虐待につながるふれあいは実施すべきでない。	ふれあいは、アンケート等で多数のお客様から要望いただいたサービスです。当園が主に対象とする都市部の市民にとっては、動物とふれあうこと自体が少なくなっている状況であり、ふれあいサービスを通じて生きた動物に触れていただくことで「命の教育」にも貢献できると考えております。ふれあい・家畜ゾーンでのコンタクトの具体的な実施方法については、今後検討してまいります。
	(6-3. アフリカの森ゾーン)	
	アフリカの森ゾーンには、チンパンジーの放飼場に大きなカシの木があるなど、その高い知性を知ることができる様々なエンリッチメントを実施できる環境づくりをしてほしい。	施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。チンパンジーの高い知能を伝えられるような施設の整備を目指してまいります。
	(6-4. 東南アジアの森ゾーン)	
	東南アジアの森ゾーンには、多様性を表現する混合展示が面白いと思う。 コンクリートの地面ではなく、土の地面にしてほしい。フクロテナガザルの樹間渡りやマレーグマの木登り展示が見れるとすばらしいが、シシオザルは天王寺動物園が血統登録担当者なのだから、繁殖などを含めた飼育施設をきちんとしてほしい。 2件	施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。
	(6-5. 日本の森・里山ゾーン)	
日本の森・里山ゾーンは、古き良き故郷の雰囲気日本で動物たちがイキイキとしている姿を見られる展示を期待している。 2件	施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備 計画	日本の森・里山ゾーンについて、意外と知らない身近な動物というコンセプトはわかるが、珍しいもの好きの関西人がタヌキとかイノシシを見たいと思うとは思えないので、お金をかけてまで動物園で展示する必要はない。	都市部の動物園としては、都市住民に日本の動物を知っていただくことも重要な機能だと考えております。
	ウグイスやモグラ、大阪の鳥モズは、名前は知っているけど見た事のない人も多いので、そういった動物の飼育に重点を置いてほしいと思う。	日本産の動物の展示は強化してまいります。
(6-6. アジアの森ゾーン-拡張エリア)		
	アジアの森ゾーン（拡張エリア）は、もっと木陰のある放飼場にし、エンリッチメントをしっかりできる工夫をしてほしい。また、観覧エリアを広くしてほしい。	施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。
(6-7. 新夜行性動物舎)		
	夜行性動物舎に「昼間のゾーン」を設け、夜と昼の行動の違いを展示するのも面白い。	ご意見を参考にさせていただきます。
(6-8. 適応の世界エリア)		
	適応の世界エリアは具体的な記述がなく、何を作ろうとしているかわからないが、生態的展示の手法で造ってきた各エリアに入らない種々雑多な動物を展示するなら非公開にした方がいい。	各ゾーンの展示コンセプトに合致しない、様々な動物を展示する施設を適応の世界としています。この施設を設けておくことにより、動物の飼育展示に関する自由度が広がると考えております。
(6-9. アジアの高地ゾーン)		
	アジアの高地ゾーンについて、レッサーパンダを複数飼育できる施設にしてほしい。チュウゴクオオカミは闘争が起こるので、放飼場も状況によって区切ることのできる可動柵を作るなどしてほしい。	施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。
(6-10. 新猛禽舎)		
	新猛禽舎は、カッコよく飛ぶところが見たい。現在のコレクションは継続して飼育してほしい。 2件	施設整備に当たっては、飼育している種数は絞った上で1種あたりの面積を広くしていきたいと考えております。

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備 計画	(6-12. タイガの森ゾーン)	
	タイガの森ゾーンは、完成と同時に構成種であるモミヤトウヒなどの針葉樹を今から育てるぐらいの計画が必要である。 また、目線の先に水辺があるようなものにしてほしい。繁殖や観覧スペースにも配慮したものにしてほしい。	施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。
	(6-13. 将来ツル舎)	
	将来ツル舎においては、今後さらなる飼育技術の向上を望む。	ツル類への飼育技術の向上に取り組んでまいります。
	(6-14. 南米の森ゾーン)	
	南米の森ゾーンは、野生のジャガーの特性も考慮し、水辺で暮らす生態が観察できるような施設でかつ、植樹も行い、親子飼育する際の十分な寝室を準備してほしい。	施設の詳細については、今後設計段階で検討してまいります。
	ジャガーなどのネコ科の獣舎をもっと早く整備し、もっと上下運動のできる広い運動場にしてあげてほしい。	ジャガーなどを含む南米の森は整備計画第4期の整備を計画しております。現行の施設の中であっても、少しでも幸せに過ごせるよう環境エンリッチメント等を実施してまいります。
	(6-15. 新病院・研究棟/調理場)	
	スタンプラリーの特典で、バックヤードを見学したが病院がとも大都市の動物園の病院とは思えなかった。 建設予定地を見ても一番に改善すべき施設ではないのか。	新病院/調理場の予定地は、小型及び中型ネコ類舎及び現在、下水道の工事を行っているエリアです。下水道工事の終了後、迅速に整備を進めたいと考えております。
	(6-16. 非公開飼育エリア)	
非公開飼育エリアの役割に期待する。	バックヤードの充実を図ってまいります。	
(6-17. てんしばゲートひろば)		
コアラは人気が高く、自然のままに過ごす姿を観ることができるのは魅力的である。コアラの飼育縮小は見直し、移転後のコアラ舎も現在と同規模の設備を設けてほしい。 2件	コレクション計画では、コアラは撤退種として位置付けており、新たなコアラの個体を導入する予定はありません。今後1頭のみ飼育になりますので、現行コアラ舎は施設として大きすぎる状況です。移転先のコアラ舎については、サイズを縮小しますが、コアラにとっても快適な施設となるよう努めてまいります。	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	てんしばゲートひろばにおいて、講義スペースでサイエンスカフェや大人のための講座などを開催してほしい。	動物学習施設の整備に合わせ、大人の知的好奇心にも対応したプログラム実施を進めてまいります。
	動物関連の書籍について、オブジェと化するだけの本は必要ない。動物レクチャー、飼育員の話など動物園でしか味わえない学習があるはずである。	動物園の教育機能として、図書機能は重要と考えております。
	書籍閲覧コーナーは、特に天王寺動物園にいる動物の情報を充実させ、本物の動物と書籍の情報をリアルタイムで重ね合わせることができ、興味や好奇心が持てる。	ご意見を参考にさせていただきます。
	てんしばゲート側に、各種レンタル、コインロッカーを設置してほしい。	活性化計画3-2⑥で、ベビーカー貸出やコインロッカー等について、サービス配置の見直しを進めることとしております。
	ボランティアルームの運用イメージがわからない。また、その運営の担い手についてはどう考えているのか。	ボランティアルームはボランティアに参加していただいている人たちの活動拠点となる部屋を設置するイメージです。部屋の規模や運用の詳細については、今後検討してまいります。
	てんしばゲートひろばの予定地には、今温室や映像館があると思うが、「天王寺博覧会」の時の施設で思い出深いところなので、活用方法を検討してほしい。	映像館及び温室については、雨漏りや空調設備更新など、リノベーションして利用するにも、大掛かりな工事が必要となります。この施設をリノベーションして用いるか、撤去して新たな施設を設置するか比較検討したところ、整備コスト、ランニングコスト、施設利用の自由度などを総合的に鑑みて、既存施設を撤去して新たな施設を設置する方がコストベネフィットが高いと判断しております。
	(6-18. 新世界ゲートひろば)	
	子どもの無料遊具について、無料といえども専門家との連携も視野に入れて質の高い遊具を提供してほしい。	楽しく、かつ安全な遊具の設置を検討してまいります。必要に応じて、専門家の意見も聴取いたします。

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	(7-1. 便所棟について)	
	<p>今後、外国人観光客の集客に積極的に取り組むのであれば、トイレはゆったり設計で、外国人が感動するウォシュレット機能をすべてに付けてほしい。女性トイレは入口をL字型にするなど、外から中が見えない工夫をしてほしい。トイレ内部には、フックや棚など手荷物に配慮した設計をしてほしい。 3件</p>	<p>トイレの整備は計画的に進めてまいります。ウォシュレットについては改修実施の際には設置していくこととしております。また、フック、棚、男子トイレへのおむつ交換台についても設置することとしております。女性トイレの入口について配慮した設計に努めてまいります。</p>
	(7-2. 誘導系サインについて)	
	<p>誘導サインは、特に非常時におけるものは情報弱者（聴覚等）にも対応したものにしたい。</p>	<p>検討してまいります。</p>
	(7-3. レストラン/カフェについて)	
	<p>入園料を 1500 円ぐらいにしてもいいので、積極的にお金を稼いで、ウィーンの動物園のように動物を見ながら飲食できる場所を作ってはどうか。</p>	<p>飲食サービスについては、提供するサービスの規模と内容を適切に設定し、来園者目線に立ったサービスの提供を目指してまいります。 入園料の値上げについては慎重に検討してまいります。</p>
<p>一人でも遠慮なく食べられるカウンター式のレストラン作りをお願いしたい。</p>	<p>飲食サービスについては、サービスの規模と内容を適切に設定し、来園者目線に立ったサービスの提供を目指してまいります。</p>	
<p>20 年計画は長いので、飲食店などすぐに改革できそうなところは順次オープンし、行くたびに進化しているようにしてほしい。</p>	<p>施設整備計画では、てんしばゲートひろばや新世界ゲートひろばといった飲食店等を配置する予定のエリアは、20 年計画の中の比較的早期での整備を計画しています。動物舎についても、逐次整備を進めてまいります。</p>	
<p>これからも動物園を続けるのであれば全面改装すべき。各施設の古びた感じは、不衛生に見え、動物たちが牢獄に入っているようで本当に可哀想なので、どうにかしてほしい。 飲食店やゲームコーナーなどもそうであるが、すぐにリニューアルは無理だと思うので、まずは撤去してはどうか。</p>	<p>施設整備計画において順次新しい施設に改修してまいります。 なお、ゲームコーナーについては、2 年前に撤去いたしました。</p>	

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VI 施設整備計画	授乳施設や救護棟の記載がないが、今あるものをより使いやすく、設備等を改善してほしい。	授乳施設や救護所は当面は現行の施設を用いることとなりますが、適宜改善を図ってまいります。
(2. 計画目標達成のための対応方針（収支改善施策）)		
	世界の動物園に比べ、日本の動物園の入園料は安すぎるので、入園料を上げ、適切な飼育・教育ができる施設にしてほしい。 65歳以上無料を廃止し、大阪府内小中学生を無料にして、遠足などの校外学習を誘致するべき。 8件	入園料の値上げについては、今後慎重に検討してまいります。
	水道代が高くついても、動物生活優先でお願いしたい。濾過システムを導入すれば、後々の水道代負担は軽くなるのではないか。	今後設置する獣舎プールについては、水道代節約の要請もあり、循環ろ過を可能とする設備の導入を計画しております。
	施設管理費も他園の状況をもっと詳細に確認し、光熱費を削ることによるリスクも検証してほしい。	施設の整備と併せて、光熱水費の削減を図ってまいります。
(4. 望ましい組織体制と経営形態)		
VII 経営計画	職員の数、給与体系、雇用体系の見直しを行うほか、収支のバランスが悪いのであれば経費の見直しを行うべき。 また、現在の土地は大阪市内でも路線価の高い一等地であるため、民間に土地と経営権をセットで売却し、得た資金で動物たちにとってより広大な敷地の園にリニューアルしてはどうか。 なぜアクセスの良い場所にありながら人が来ないのか、根本的原因の振り返りが曖昧であり、このまま整備を行っても次の100年は厳しいのではないか。	職員の雇用体系や給与体系の見直しについては、まずは動物園運営にふさわしい経営形態の検討を進めたうえで、適切に見直しを進めてまいります。 経費の削減については、削減の余地がないかどうか引き続き検討を進めてまいります。 移転については、現在のところ考えておりません。 好立地にありながら人が来ない理由は、コンテンツの魅力とその発信の不足だと考えております。魅力向上のためのさらなる活性化を進めてまいります。
	人件費は公務員採用の枠を超えて専門技術の向上と人材の確保を第一に考えるべき。また、光熱水費は雪国の住宅の冷気循環設備や、NASAの断熱塗料を使用するなど、災害時のことも考え発電と蓄熱を考慮し、水は高度なろ過技術を利用し再利用すべきである。	ご意見を参考にさせていただきます。

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
VII 経営計画	<p>環境エンリッチメントやハズバンドリートレーニングに積極的に取り組んでいる飼育員を正しく評価する仕組みを作るべきである。その他、自分本位、仕事が増えることを嫌がり定時に終わることに重きを置いている、保守的であるなど、魅力的な動物園に生まれ変わるには、働く人も変わるべきである。飼育係を専門職と位置付け、飼育、保護、管理、種の保存はプロの仕事にするべきである。10件</p>	<p>環境エンリッチメントやハズバンドリートレーニングについては、全園的に推進してまいります。そのほか、飼育管理技術の向上にも努めてまいります。</p> <p>頑張った職員が評価されるような仕組みを導入していく必要があると考えており、動物園運営にふさわしい組織体制や経営形態の検討も含めて、今後検討してまいります。</p>
VIII 計画推進のために	<p>評価指標やチェック体制は、ぜひ計画どおりしてほしい。飼育員の飼育技術についてもしっかりとした評価基準をもとにチェックすべきである。</p> <p>計画は長期にわたるので、継続するチェック体制づくりが不可欠である。3件</p>	<p>継続的なチェック体制を構築し、PDCAサイクルを回してまいります。</p>
その他	<p>動物園の動物は本来の生態や習性を発揮できない過酷な環境に置かれ苦しんでいるので、経営目標の中に、コスタリカの国立動物園に倣って「将来的な動物園の閉鎖」を盛り込んでほしい。</p>	<p>当園は天王寺という都心にあり、お客さまも概ね都市住民です。動物園の活動を通じて、都市に住む方々にも野生の動物のことや野生の動物が置かれている状況などを知っていただきたいと考えており、そのことを通じて、野生生物の保護にも貢献してまいります。</p>
	<p>日本の動物園はすべて閉鎖すべきである。閉鎖できないのであれば、欧米の動物園のように、動物たちが快適に過ごすことを優先した動物園に改善するべきである。2件</p>	<p>施設整備計画に基づき、よりよい環境の動物舎を順次整備していきたいと考えております。施設が整備されるまでの間は、環境エンリッチメントなどにより、動物の福祉の向上に努めてまいります。</p>
	<p>よく動物園を、動物を不自然の中に閉じ込め悪と説く人がいるが、動物園があるおかげで、現地に行かなくても動物の素晴らしさを体感できる。図鑑では味わえない真に迫った動物を見ることで、親近感、理解度が増し、地球上の生き物の素晴らしさや大切にしなければならないことを学習する絶好の場所である。</p>	<p>動物本来の行動を引き出す工夫を行うなど、動物の魅力を知っていただけるよう努めてまいります。</p>

該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
その他	道頓堀や黒門市場あたりから、トゥクトゥクのような気軽に乗れるようなもので動物園まで行けるようにしてほしい。	ご意見を参考にさせていただきます。
	地下鉄動物園前駅から動物園までに専用道をつくるなど、環境改善を行ってほしい。	ご意見を反映し、多くの来園者が利用する地下鉄動物園前駅からのルートでの環境整備は重要な課題だと認識しており、動物園前駅からのアプローチの環境改善が図られるよう努めてまいります。
	天王寺方面から、てんしばゲート経由で動物園へ向かうとき、夏場など木陰がほしい。	ご意見を参考にさせていただきます。
	電気自動車で園内で巡回させてほしい。自転車での入園ができるようにならないか。 2件	園路でのお客様の安全と良好な観覧環境を確保する点で難しいと考えております。
	グラフには、平成 22 年度（120 万人）からの入園者数が載っていますが、『Z0021 計画』の「アフリカサバンナゾーン」がオープンした平成 18、19 年には入園者は 180、190 万人以上に達しています。平成 19 年から 22 年の間に入園者が急激に減少した原因はどこにあったのでしょうか。その検証はなされたのでしょうか。その原因分析や検証結果を、101 計画に生かしていただきたいと思えます。	大阪市が公式に公開している入園者数データでは、平成 21 年度が約 184 万人で、平成 22 年度の約 120 万人と比べると、一見、1 年間で 64 万人の入園者減少があったように見えます。 しかし、平成 21 年度までは、無料入園者の数をカウントしておらず、全体の入園者数は有料入園者数に係数をかけて推計したデータを使用しておりました。一方、平成 22 年度以降は無料の入園者数も実数をチケットゲートでカウントした数値をしておりません。 有料入園者数だけで見ると、21 年度 62 万人に対し、22 年度が 63 万人であり、ほぼ横ばいです。 101 計画に引用した入園者数は、正確な数字がカウントできていて比較可能な平成 22 年度以降のデータを使用しております。
職員の対応や雰囲気について、入園者は高い評価をされていることがわかった。	ご意見を参考にさせていただきます。	

※その他、計画本体と関連のないご意見については省略しているため、件数とは合致しない。